

# 第30回会長杯 兼 第26回福島民報・福島テレビ杯全会津ミニバスケットボール 新人大会

## 【新型コロナウイルス感染症に対応した大会ガイドライン】

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

\*基本方針 福島県および（公財）日本バスケットボール協会（JBA）・（一社）福島県バスケットボール協会（FBA）のガイドラインに沿って実施する。

### 1 大会前の対応

- (1) 大会参加者は、主催者が示した「ガイドライン」・「チェックリスト」等を遵守すること。
- (2) 今大会は観客有(制限有り)での開催とする。会場に入場できる者は、チーム関係者、大会役員、審判員、報道関係者のみとし、かつ大会当日に「健康チェックシート」を提出し受理された者のみとする。選手、コーチ、Aコーチ、マネージャー、Aマネージャー、チーム関係者(観客はエントリーされた選手1人につき1名以下)とする。また、エントリー外の選手は観客の人数内での入場を可とする。  
なお、未就学児の入場はできません。  
※入場の際には全ての人が指定されたネックストラップ(大会主催者から受け取り時に渡す)を見える様に首から下げる事とする。
- (3) 大会参加者の健康状態等を把握するため、大会参加者全員に『健康チェックシート』の提出を求める。大会参加者は、必要事項を記入し、大会当日、忘れず持参すること。(ワクチン接種証明提示は求めない)  
参加チーム責任者は、大会当日、チーム全員の『健康チェックシート』を集め、受付に提出すること。
- (4) チーム責任者は上記(2)、(3)を関係者に周知する。
- (5) 大会前2週間以内に発熱(37.5℃以上)があった場合の対応について
  - ① 日常的に発熱(37.5℃以上)がある場合、「通院する」ように促す。
  - ② 大会当日発熱(37.5℃以上)や、体調がすぐれない場合は大会参加を見合わせる。
  - ③ 2週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があり医療機関を受診し、医師からの指示があった場合には健康チェックシートの「チェック項目 ⑨ その他(自由記述)」の枠に内容を記入する。  
例1：○月○日通院「自宅療養をして1~2日で熱が下がれば問題なし」と言われた。  
例2：○月○日通院「胃腸炎による発熱」 など
  - ④ 2週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があったが医療機関を受診していない場合で、大会当日発熱が無い者は受付にて確認する \*詳細は2-(1)-3)-④参照
  - ⑤ 2週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があった場合、事前に大会本部に問合せすること。
  - ⑥ ワクチン接種については、大会1週間前には接種しないこととする(発熱がワクチン接種の副反応によるものかを特定することは難しいため、発熱(37.5℃以上)が生じていれば参加不可となる)。

### 2 大会中の対応

- (1) 健康チェックシートの取り扱いについて
  - 1) チーム関係者【チーム責任者(感染対策責任者)】
    - ① 大会初日(1日目の試合日)の集合時、受付ブースでチーム全員の健康チェックシートを集める。その際、チームメンバーの体調観察及び健康チェックシートの確認(発熱、記入漏れや不備)をする。
    - ② 当日、発熱(37.5℃以上)や、体調がすぐれない者がいた場合、大会参加を見合わせる。
    - ③ 健康チェックシートの起床時体温の発熱(37.5℃以上)に赤丸をつける。
    - ④ チェック者(赤丸や自由記述がある者)のシートを束の上部に集める。
    - ⑤ 受付時にチーム全員分の『健康チェックシート』をまとめて受付担当者に提出する。
    - ⑥ 2日目の試合日以降は、同様に①~⑤を行う。

## 2) 大会役員、審判員、MC

大会役員、審判員及びMCは各会場受付ブースに提出する。

## 3) 主催者

- ① 会場作成者は受付ブースを設置し、受付担当者（役員）を配置する。
- ② 受付担当者は受付ブースでチーム責任者から提出された『健康チェックシート』を確認する。
- ③ 受付担当者は確認後にチェック項目がない者に参加可能の指示をする。
- ④ チーム責任者とチェック項目がある者を呼び、「チェック項目①～⑨」の確認作業を行う。問題がなければ参加可能を指示し、問題がある場合は帰宅を促す。
- ⑤ 『健康チェックシート』を受け取りに来たチーム責任者に返却する。
- ⑥ 提出された『表紙』は主催者が保管（3か月）するので返却しない。
- ⑦ 主催者は試合が終了したチームの『健康チェックシート』を保管する（3か月）。

## (2) 受付、入場について

- ① 受付時間は、入場自時間からとする。その時間前には入場できない。
- ② 健康チェックシートを提出し受け付け担当者から確認を受けた後、ネクストラップを受け取り入場者に配布し首から下げて入場する。
- ③ 受付後は主催者の指示、会場掲示等（一方通行）に従い、速やかに待機場所へ移動する。
- ④ フロア（ベンチ）への入場時間はスタッフの指示に従う。基本的に試合の開始時刻は定刻とするが前試合が延長戦などで大幅に遅延した場合は、消毒作業終了後10分後に試合を開始する。

## (3) 会場内

- ① コート上を除くすべての方が不織布マスク（審判時はこの限りではない）着用をすること。（各自準備する）。屋外で2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③ 様々な場面において、他の参加者等との距離を十分確保すること。
- ④ 待機場所等において昼食をとる場合も、距離を十分とり対面を避けて食事をし、マスク会食を徹底すること。
- ⑤ 待機できるのは主催者により許可されたチーム関係者、補助員とする。
- ⑥ 更衣室の使用については主催者の指示に従い、密にならないようにすること。
- ⑦ 荷物、下足は各自が持ってフロアに入場する。（待機場所や更衣室に置きっぱなしにしない）
- ⑧ 前試合のハーフタイムのW-upは行わない。屋外でのW-upを原則とするが、屋内施設でW-up場所を確保できる会場では使用しても構わない。使用後の消毒作業はチームの責任で行う。
- ⑨ 試合が2試合あるチームは主催者が指示する場所で待機し、不要な接触を避けること。（円陣、握手、ハイタッチ、向かい合っでの飲食等）
- ⑩ あいづ総合体育館1階事務所周辺においてのアップは禁止です。

## (4) 試合

- ① 指導者・スタッフ・ベンチに座る選手は、マスク着用すること。マスクの管理は各自が責任を持つこと（保管用の袋等を準備する、チーム名・ユニフォーム番号・氏名を記入するなど）。
- ② プレー以外の円陣、握手、ハイタッチ、抱擁等の不要な接触を避けること。
- ③ タオル、ボトル等、すべてのものを共用しないこと。
- ④ ベンチでは可能な限り間隔をとって着席する。
- ⑤ タイムアウト、ハーフタイム時は速やかにベンチに戻りアルコール等で手指消毒を実施すること。
- ⑥ コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意する。
- ⑦ 試合前、試合後の審判、相手ベンチへの挨拶はキャプテンのみとし、握手は行わない。
- ⑧ アップ時や試合中にチームで統一されたかけ声や応援は控える。（応援は拍手のみとする）
- ⑨ 試合が終了し選手退場後に、チーム関係者が責任をもってチームベンチエリア内及び観客席の消毒を行う。  
各チームは消毒に必要な物品（アルコール消毒液、ペーパータオル、使い捨て手袋、ゴミ袋）を準備する。消毒作業で出たごみは各チームで持ち帰る。
- ⑩ 試合のビデオ撮影をする場合は各チーム1名とし、大会本部が許可した場所（観客席エリアのみ）で撮影する。

(5) T0 について

- ① T0 席は長机 2 つを配置し、T0 4 名が可能な限り距離をとって着席する。
- ② T0、T0 主任はマスクを着用する。
- ③ 試合終了後、T0 主任・審判は協力して T0 席、T0 操作盤、筆記用具、モップの消毒を行う。この消毒作業に必要な物品は大会主催者が用意する。

(6) その他

- ① 駐車場に関しては大会本部、会場責任者の指示に従うこと。
  - ② ごみは、各自責任をもって持ち帰ること。
  - ③ 手洗い、手指消毒等の注意喚起掲示をする。総務が準備し、会場が掲示する。
  - ④ 手指消毒液、ペーパータオル等の設置をする。大会主催者が準備し、会場責任者が設置する。
  - ⑤ 会場備品、ドアノブ、トイレ等の消毒を 1 試合おきに行う。大会役員が行う。
  - ⑤ 窓・ドアの開放や大型扇風機の利用等で可能な限り換気を促す。
  - ⑥ 試合、T0、役員業務が終了した参加者は速やかに帰宅する。  
(T0 の筆記用具は T0 チームが準備する)
  - ⑧ 役員、審判員の飲料等は各自準備する。
  - ⑨ 審判は原則 1 試合とするが、2 試合の割り当てとなる場合もある。
- ※ 主催者側でも常設するが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。

### 3 不測の事態の対応

- (1) 不測の事態に対しては『JBA バasketボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)』第 5 版(2022 年 5 月 12 日作成)に沿って対応することとする。  
大会に関わるチーム関係者、大会役員、審判員、補助員、報道関係者、チーム応援者は JBA のホームページを確認し、上記ガイドラインの内容を確認しておくこと。また、ガイドラインが更新された場合は、最新版に沿って対応することとする。
- (2) 棄権チームについて  
体調不良者が原因で人員不足となり出場不可となったチームは「棄権」となるが、処分の対象とはしない。  
不可抗力により大会参加を辞退する場合、理事長：小沼典男 090-6227-2556に連絡を入れること。
- (3) 競技会場が使用不可能になった場合  
大会開催が可能な場合、中止とする。
- (4) 休校等の出場について
  - ① 休校中の学校のチームは、出場不可となる。
  - ② 学級閉鎖・学年閉鎖の場合は、その学級・学年に在籍する生徒(選手本人)が陽性者、濃厚接触者でない場合は国が承認した抗原検査キットによる検査を受け陰性通知書の提出をもって参加可とする。
- (5) 大会期間中に参加者に感染者が出た場合  
感染者発覚の時点で、速やかに理事長：小沼典男 090-6227-2556に連絡すること。  
その場合は、感染者が所属するチームは次戦には出場できない。また、対戦相手チームも濃厚接触者となる場合は次戦には出場できない。
- (6) 大会後 2 週間以内に参加者に感染者が出た場合  
速やかに理事長：小沼典男 090-6227-2556に連絡すること。濃厚接触者となるチーム、審判、T.0 チームにはその旨を連絡する。連絡を受けた者は抗原検査を実施するなど適切な対応をすること。

以上